

■令和7年度 鈴鹿市立庄野小学校 学校教育目標

「ともに学び合い 心豊かに たくましく生きる子の育成」



2学期始業式 ~さあ、再スタートです~

今年度の夏休みは44日間でした。充実した時間を過ごすことができましたか？昨日から始まった2学期、社会見学や修学旅行、運動会と学校行事が盛りだくさんの学期になります。一つ一つの活動にしっかり取り組み、いい思い出をみんなで創っていきましょう。始業式では、「できるだけ正直に」「自分の良いところを生かして、お互いを助け合っていきましょう」という話をしました。一人一人が成長する学期にしていきましょう。



令和7年度全国学力・学習状況調査 結果と今後の取組について①

本年度の4月17日(木)に小学6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果概要についてお知らせします。この調査は、児童の学力学習状況を把握し、授業や生活習慣の改善に役立てる目的としています。さらに、このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することが目的とされています。しかしながら、調査により測定できるのは学力の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。このことを十分に考慮し、成果や課題を学校・家庭・地域で共有し、取組をさらに充実していきます。

I. 教科に関する調査の結果

平均正答率(%)	本校：全国比	三重県	全国
国語	やや上回る	66.0	66.8
算数	上回る	57.0	58.0
理科	上回る	56.0	57.1

2. 児童質問紙における本校の結果～教科（国語・算数・理科）に関する項目～

「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童の割合（%）

○全国平均より5%以上高い項目

番号	内容
51	国語で説明的な文章を読み、文章と図表を結び付ける等して、必要な情報を見つけている
58	算数でどのように考えたか説明する活動をよく行う
59	小数や分数を工夫して計算している
64	将来、理科や科学技術に関する職業に就きたい
65	理科で学習したことを普段の生活で活用している

●全国平均より5%以上低い項目

番号	内容
44	国語の勉強は得意
46	国語の授業の内容はよく分かる
60	理科の勉強は得意
62	理科の授業の内容はよく分かる
68	理科で問題に対する答えを自分で予想（仮説）を考えている
69	理科で観察や実験結果から、どのようなことが分かったのか考えている

国語は、「話すこと・聞くこと」「読むこと」に関しては正答率が高く、「漢字」についても「ミチムラ式漢字カード」の活用の成果もあってか、正答率が高かったです。しかし、文章の構成を考えたり、自分の考えを伝えたりするための「書くこと」に課題がみられました。複数の表や資料から必要なことを読み取り、文章として再構成する学習を取り入れていく必要を再確認しました。

算数は、「数と計算」「データの活用」において正答率が高かったです。しかし、「図形」と「測定」に課題がみられました。今回出題された「台形」だけでなく様々な図形の応用的な面積の求め方や測定の単位を意識する学習を意識的に取り入れたいと思います。また、条件に応じた考え方を表現する学習の必要性も再確認しました。

理科は、「生命」「地球」を柱とする領域の正答率が高かったです。しかし、「エネルギー」を柱とする領域に課題がみられました。電気の回路図の正答率が全体的に低かったので、物質を身近な物と関連させたり、実験を行ったりすることなどを授業に組み込んでいきたいと思います。また、植物の発芽について、条件から問題を作成する問い合わせの回答状況から、課題を見つけ文章に表現する機会を増やしたいと考えています。

各教科の課題のみられる学習内容の振り返りとともに、児童質問紙のその他の回答も含め、総合的に課題として捉えられる「ICTの活用」「対話的な学び」「学びのアウトプット」を意識した全体的な授業改善に努めたいと思います。

次号の学校だよりでは児童質問紙の生活習慣や学習全般に関わる項目について報告します。